

平成28年度 総合教育会議

足立市長と教育委員会（教育長及び教育委員）で構成する総合教育会議が、7月4日と12月19日の2回開催されました。主な内容を紹介します。

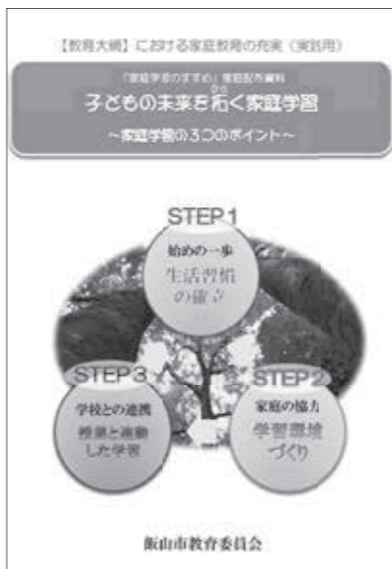
第一回目は、長瀬教育長から、飯山市教育大綱に基づき、学力向上を図ることを目的に初めて実施した、総合学力調査の結果について説明がありました。

本市の子ども達は、全国の子とも達と比べ、家庭での学習時間が少なく、テレビを見る時間が多い傾向にある事が

調査結果の一つとしてわかりました。

そのため、各家庭で配付用の「子どもの未来を拓く家庭学習」リーフレットの内容を検討いただき、2学期に児童生徒を通じて全家庭に配布しました。

第二回目は、小学校区毎に行われた教育懇談会の報告を行い、今後の児童生徒数の推移や部活動の状況、また2020年小学校における外国語教育の充実に向けた今後の英語教育、中学生への英語検定補助案、(仮称)飯山市子ども館、教育関係の新年度事業の計画案などについて、教育委員会からの説明後、各委員からご意見をいただきました。第三回は、3月15日に開催予定です。



全国作文コンクール 最優秀賞・金賞 城北中学校

城北中学校では二名の生徒が全国規模の作文コンクールで最高賞を獲得しました。

三年生の丸山詩織さんは、夏休み中におじいさんが庭仕事で亡くなったことに、今までの経験から再確認した「人はどんな時も支え合い、助け合って生きていく」という思いを『人はどんな時も』という作文に記し、「中学生のための作文・絵画コンテスト」の中学生作文部門で最優秀賞を受賞しました。

また、二年生の栗岩裕紀君は農業従事者の高齢化問題に触れ、自ら後継者となって「今の農業を発展させて、農業に希望という名の光を入れて地域と大地を守り続けていきたい。」との決意を『地域を緑に』という作文に記し、「イオン1%クラブ 中学生環境作文コンクール」で金賞

を受賞しました。



2月6日 市役所表敬訪問

青少年指導者・育成者 (団体)・善行者表彰の 対象者募集について

飯山市青少年育成市民会議では、「青少年健全育成で功績のあった個人や団体」、「特に顕著な善行を行った青少年」を毎年表彰しています。該当される方もしくは団体がございましたら、市民会議構成団体(区長会協議会、青少年育成補導員会、子ども会育成会、飯山少年警察ボランティア協会、PTA連合会、

校長会など)または各地区活性化センターを通じて推薦をお願いします。被表彰者は市民会議の理事会で決定し、表彰式は6月上旬の予定です。

【推薦期間】
2月17日(金)～4月20日(休)

【表彰基準】
青少年健全育成のため、8年以上活動した指導者または団体で功績のあったもの、および善行を行った青少年で、その行為が特に顕著であると認められるもの。

【推薦者】
区長または市民会議構成団体の長

【推薦方法】
所定の推薦書に必要事項を記入し、飯山市青少年育成市民会議事務局(飯山市公民館内 市民学習支援課)へ提出してください。(推薦書用紙は飯山市ホームページからダウンロードできます)

詳しくは事務局までお問い合わせください。

【問い合わせ先】
市民学習支援課社会教育係
☎3342

第54回全国中学校スキー大会

5選手が全国へ

第54回全国中学校スキー大会が2月2日から山形県で開催され、飯山市からは県大会で優秀な成績を取めた5人の選手が出場しました。市長から選手それぞれにスポーツ大会出場選手激励金が渡されました。出場選手を紹介します。

1月27日 市役所に表敬訪問



- (氏名・出身地区・所属・出場競技の順・敬称略)
- ◇栗田湧斗(太田)(城北) アルペン(ジャイアントスラローム)
- ◇佐藤留旗(木島)(城南) クロスカントリー(フリー)
- ◇小林皓生(瑞穂)(城北) クロスカントリー(クラシカル・フリー)
- ◇小坂飛翔(瑞穂)(城北) クロスカントリー(クラシカル・フリー)
- ◇清水直也(常盤)(城北) クロスカントリー(クラシカル・フリー)

全国中学校スキー大会競技結果(入賞選手)

クロスカントリー競技			
クラシカル男子5km	第2位	小林皓生	
フリー男子5km	第1位	小林皓生	
リレー(長野県)	第1位	小林皓生	

また、第66回全国高等学校スキー大会が2月2日から群馬県片品村で開催され、飯山市からも飯山高校をはじめとして多くの選手が出場しました。飯山市に所属する選手・学校にはスポーツ大会出場選手激励金が贈呈されました。該当者を紹介します。

(氏名・出身地区・所属・出場競技の順 敬称略)

- ◇小林啓将(太田)(飯山) アルペン(ジャイアントスラローム)
- ◇高澤 健(木島)(飯山) ジャンプ・コンバインド
- ◇高橋和花菜(太田)(長野俊英)アルペン(スラローム)
- ◇飯山高校クロスカントリーリレーチーム(男女)
- ◇清水 拓(飯山)(中野立志館)ジャンプ・コンバインド

～子育ては、一人で悩まずにお気軽に相談ください～ 飯山市役所1階 相談室 ☎62-3111 内線171・173



子育ての悩みは尽きません。一人一人の悩みも様々です。どこに相談したらいいか迷ったら、まずはご連絡ください。

- 育児・しつけでお困りのこと
- 発達や言葉の遅れ
- 放任や虐待の心配
- ひとり親家庭の制度や手当、就業や生活など

62歳の私が思う事 飯山人権擁護委員協議会委員 木幡 喜美子

人権シリーズ

▽夢も希望もどこへやら今も揺れているこの家で炬燵の板に捕まって「静かになつて」と祈ります。▽流れる情報聞く度にハッと心が凍ります。眠れぬ夜の闘いはいつまで続く事でしょう。▽遠く離れた子供達思い浮かべて泣く母がテレビ見ながら独り言「何でこんなになつたの」と。▽泣いてたまるか負けるかと命の重さを胸に抱き優しい電話の声聞けば涙ぼろぼろこぼれます。

この詩は、平成23年の東日本大震災の直後、私の姉(福島県南相馬市在住)が作ったものです。(詩には山崎浩先生の作曲がされています。原発事故もあり、姉夫婦は自宅に留まり、子供達は県外へと避難しました。

3月11日以降も続いた震度5以上の地震に姉達は四六時中ヘルメットを被り過ぎました。そして原発から30km圏内に住む姉に物資を送る手立ても無く、数ヶ月は自衛隊の方が配給してくださる食料や水で生活していました。姉と連絡が取れた

唯一の手段は電話であり、私と姉は朝の連続ドラマを見終わった頃を見計らって話をする事が毎日の楽しみでした。

「今日は、お隣さんと散歩をしたよ」「今日は配給があるから貰いに行くよ」「今日は庭に花の種を播いてみたよ」「今日はタライで体を洗う事が出来たよ」。少しずつ状況が変化し、姉が気を取り戻していく様子に元気を貰い、私も負けてはいられないと思えるようになりました。

私達は通常の生活を突如として奪われた時、はたしてどの様な行動を取る事が出来るのでしょうか。備えのある時と、そうではない時がありまますから、私はその時どのように乗り越えるか、が大切だと思つています。何か事が起きると何で私だけ...と、この世の不幸を全部背負ってしまったように落ち込んでしまいましたが、今まで何とかして来たのだから、今度だつて絶対何とかなる...何とかしてやる...と62歳の私は思っています。